

- ご案内図 -



上田泰史

金沢市出身。19世紀フランスのピアノ音楽とその教育を専門とする研究者。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業後、同大学修士課程を経て同大学院博士後期課程に在籍。2010年に渡仏、2013年パリ第4大学音楽学修士号(Master2)取得。2015年、日本学術振興会より育志賞を受ける。研究の傍ら、演奏会の企画や古い楽譜の校訂出版を通して失われた19世紀フランスのピアノ音楽を現代に蘇らせる努力を続けている。

服部あゆみ

栃木市出身。国際基督教大学教養学部語学科卒業後2010年に渡仏、現在パリ第4大学の西洋美術史に在籍中。2015年6月、日本の明治時代を諷刺した画家ジョルジュ・ビゴーの学位論文で修士号(Master2)を取得。画家の絵画や版画、諷刺画を通してジャポニズムの概念を新しい視点から定義した。今後は同大学の博士課程に進み、引き続きビゴーに焦点を当てながらエピナール版画と20世紀前半における日本の木版画についての研究に従事する予定。

